



石谷 邦明 撮影 1

朝日輝く天極岳  
ほまれゆけい瑞生の  
松の緑が野に満ちて  
学ぶ意に希望あり  
あ、私達の  
下多寄小学校  
輸の楯がなからと  
流れ豊かな天塩川  
祖先の功仰ぎみて  
新たな力湧き起す  
あ、私達の  
下多寄小学校  
西龍山脈夕日に染まり  
白松林の空高く  
真理に汗の北斗星  
目指して行く  
あ、私達の  
下多寄小学校

1\_ 小野教育長へ校旗返還



石谷 邦明 撮影

# 特集 閉校 ありがとう☆下多寄小学校

風連下多寄小学校閉校式は2月2日に開われました。児童や保護者、卒業生、関係者など約270人が参加し、117年の歴史に幕を下ろしました。

式では加藤市長が「母校の閉校は何事にも代えがたい寂しさがあると思いますが、皆さんが培った伝統はいつまでも受け継がれていくと確信しています」と式辞を述べ、井川校長は「本校は地域と共に歩んできた学校です。小さな学校で、たくさんの方に支えられて育った児童の皆さんには、人との関わりを大切にしながら社会に貢献してほしい」と惜別のことを述べました。お別れのことばでは6人の在校生が「通っていた学校がなくなるのは寂しいです。どんな時も地域の方や卒業生が見守ってくれました。風連下多寄小学校はわたしたちの心の中にいつまでもあり続けます。この校舎で学んだことを生かし、風連中央小学校でも成長し続けます」と感謝とこれからの決意を述べ、「大切なもの」を合唱。その後小野教育長へ校旗を返還しました。

閉校式のあとには惜別の会が開かれ、在校生へ記念品が贈呈されたほか、在校生による器楽演奏や思い出の映像が投影され、約210人の出席者は思い出を振り返りながら母校との別れを惜んでいました。

## 風連下多寄小学校のあゆみ

- 明治35年 3月 医師今川実の長男良策が自宅の一室に子どもを集めて教育を始める
- 明治37年 4月 校舎改築（現地に移転）
- 明治37年 11月 上川郡下多寄簡易教習所として認可
- 明治38年 下多寄尋常小学校と改称
- 昭和4年 11月 下多寄尋常小学校校舎改築
- 昭和16年 4月 下多寄国民学校と改称
- 昭和22年 4月 下多寄小学校と改称
- 昭和34年 11月 下多寄小学校新築落成
- 昭和39年 4月 校歌制定
- 昭和46年 9月 開校70周年記念式典
- 昭和48年 12月 特別教室理科室音楽室の新築
- 昭和49年 11月 体育館完成
- 昭和52年 8月 職員室内部改造放送室増築
- 昭和56年 9月 開校80周年記念式典、校舎前全面舗装工事完了
- 平成5年 2月 下多寄小学校新校舎完成、同校コミュニティスクール開設
- 平成5年 10月 グラウンド完成・バックネット設置
- 平成7年 4月 西風連小学校が廃校され、下多寄小学校に統合
- 平成13年 6月 開校100周年記念式典
- 平成18年 3月 名寄市と合併。名寄市立風連下多寄小学校となる
- 平成23年 7月 開校110周年記念式典・祝賀会
- 平成31年 2月 2日 風連下多寄小学校閉校記念式典



4 石谷 邦明 撮影



2



5 石谷 邦明 撮影



3

2・3 心を込めて校歌を歌う 4 惜別の会で贈られた記念品と一緒に 5 卒業生たちも母校との別れを惜しんだ



9

石谷 邦明 撮影



8



6

6\_「最後だよ 胸に刻もう 運動会」をテーマに行われた運動会には卒業生や地域の方も参加し笑顔にあふれた 7\_「6人で力を合わせて 演じよう」をテーマに開催された学芸会では、閉校を題材にした劇「小学校がなくなる!」のほか、一輪車や器楽などを披露した 8\_学校田で約30キロのもち米(はくちょうもち)を取穫 9\_閉校記念事業として行われたウィンターフェスティバルではスノーモービル体験などを楽しんだ

## ありがとう風連下多寄小学校

## MESSAGE



PTA会長  
いまむら よしひこ  
今村 芳彦さん

閉校式の子供たちは、寂しさの中にも凛々しさと、その振る舞いは頼もしくもあり、潤んだ瞳は未来に期待を抱ける澆刺さに溢れていた。

子供たちに何の責もなく、閉校を余儀なくしてしまう我々大人こそ、子供たちの未来のために今日から、今からを力強く歩まなくてはならない。

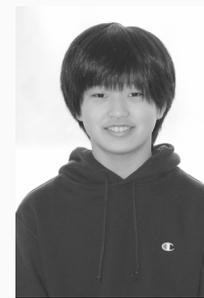
これから通う中央小学校に、子供たちの歓声がよく響くよう切に願う。



児童代表  
しんたい りさ  
新田 莉央さん

私は、とても複雑な気持ちです。悲しみ、緊張、楽しみなどたくさんの気持ちが入り混じっています。その中でも、悲しみが一番大きかったです。1年生からずっと学んできたので、別れるのはやはり悲しいです。しかし、この場でずっとめめそしているわけにはいきません。

これから、風連下多寄小学校にいる時間を大切にして、風連中央小学校に行っても、勉強をがんばりたいです。



児童代表  
いまむら いな  
今村 忍那さん

私の気持ちは悲しいです。風連下多寄小学校の校舎で勉強ができなくなることで5人と会えなくなってしまうことが悲しいです。しかし、風連下多寄小学校で学んだことを忘れずに生きていきたいです。

風連中央小学校では、風連下多寄小学校で経験したことを基に、友達に頼り過ぎないことや学習では算数をがんばりたいと思います。

「閉校」の2文字を聞いたとき、僕は正直何を言っているのか理解できませんでした。母校がなくなることはまだ先の話だと思っていました。

僕の下多寄小学校での思い出は、沢山あります。下多寄小学校では他の学校ではできないような、特徴的な学校行事が数多くありました。例えば収穫祭です。学校の田んぼに苗を植えて育てたもち米について食べる日であり、子供たちの日頃の学習の成果を地域の方々に見てもらえるいい機会です。

このように下多寄小学校は地域の人との関わりを保ちつつ、子供たちが成長できる素晴らしい学校でした。そんな僕たちの学校が閉校するのは、とても寂しく思いますが、これからも地域のつながりを大事にしていきたいです。

ありがとう風連下多寄小学校

卒業生代表 いしたに はると  
石谷 陽杜さん



平成30年度風連下多寄小学校 いかわ けんじ  
井川 健校長

小さな学校には、小さな学校にしかない良さがある。児童は、市内でどんな行事があっても、常に学校の代表だ。場慣れのような経験を全員の子がする。自ずと、人の前で発表する機会も増える。学校行事では「全員が主役」を越え、「全員が複数の役割」を担う。統合後、大きな人数の中でうまくいかない時間があるかもしれないが、小さな学校で育んだ「本番に強い力」が、学年が進めば発揮されることだろう。頑張れ下小っ子。